

【環境活動レポート】

2013年度(2013年1月~2013年12月)

1. 環境方針
2. 組織の概要
3. 実施体制
4. 環境目標とその実績
5. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価
6. 今後3年間の目標及び次年度の取組内容
7. 代表者による評価と見直し
8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2014年5月10日作成

1.環境方針

〈基本理念〉

当社は印刷事業を通じ、企画から顧客の手元に渡るまでのあらゆる段階において、環境に与える負荷の軽減に努めます。地球環境の保全のために、以下の方針を定め、環境を重視した企業活動を行います。

〈行動指針〉

- 1.エコアクション 21 に基づく環境マネジメントシステムを構築運用し、積極的に環境への負荷の軽減を目指します。
- 2.環境に関わる法令、条例、規制、協定を遵守し、顧客の要求事項を明確にし、環境保全活動の継続的な向上をはかります。
- 3.環境方針に基づいた環境マネジメントシステムを確立し、環境目標、行動計画を設定し、必要に応じて見直しを行います。
- 4.環境負荷を軽減するために次の活動を積極的に進めます。
 - ①二酸化炭素総排出量の削減に努めます
 - ②廃棄物の分別によるリサイクル化の推進及び廃棄物の削減を図ります
 - ③水資源の節約に努めます
 - ④化学物質使用量の削減に努めます
 - ⑤グリーン購入の推進に努めます
 - ⑥環境に配慮した自社製品の生産・提案
- 5.この環境方針は全ての役員従業員に周知徹底し、社員教育を実施すると共に啓蒙活動を推進して、環境保全型企業を目指します。

作成日 2009年 3月2日

改訂日 2012年 2月8日

株式会社 三進社

代表取締役 高倉三夫

2.組織の概要(取り組みの対象範囲)

事業所名

株式会社 三進社
代表取締役 高倉三夫

所在地

本 社 東京都品川区西五反田4丁目28番13号
営業本部 東京都江東区木場5丁目11番13号 木場公園ビル6F
木場工場 東京都江東区木場6丁目6番3号
尾久工場 東京都荒川区西尾久8丁目32番4号
業平工場 東京都墨田区業平1丁目1番9号
川崎営業所 神奈川県川崎市中原区宮内1丁目2番20号

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 青木秀樹
連絡先 電話 03-5621-3848 FAX 03-5621-3849
環境事務局 渡辺武雄 富樫裕子

事業内容

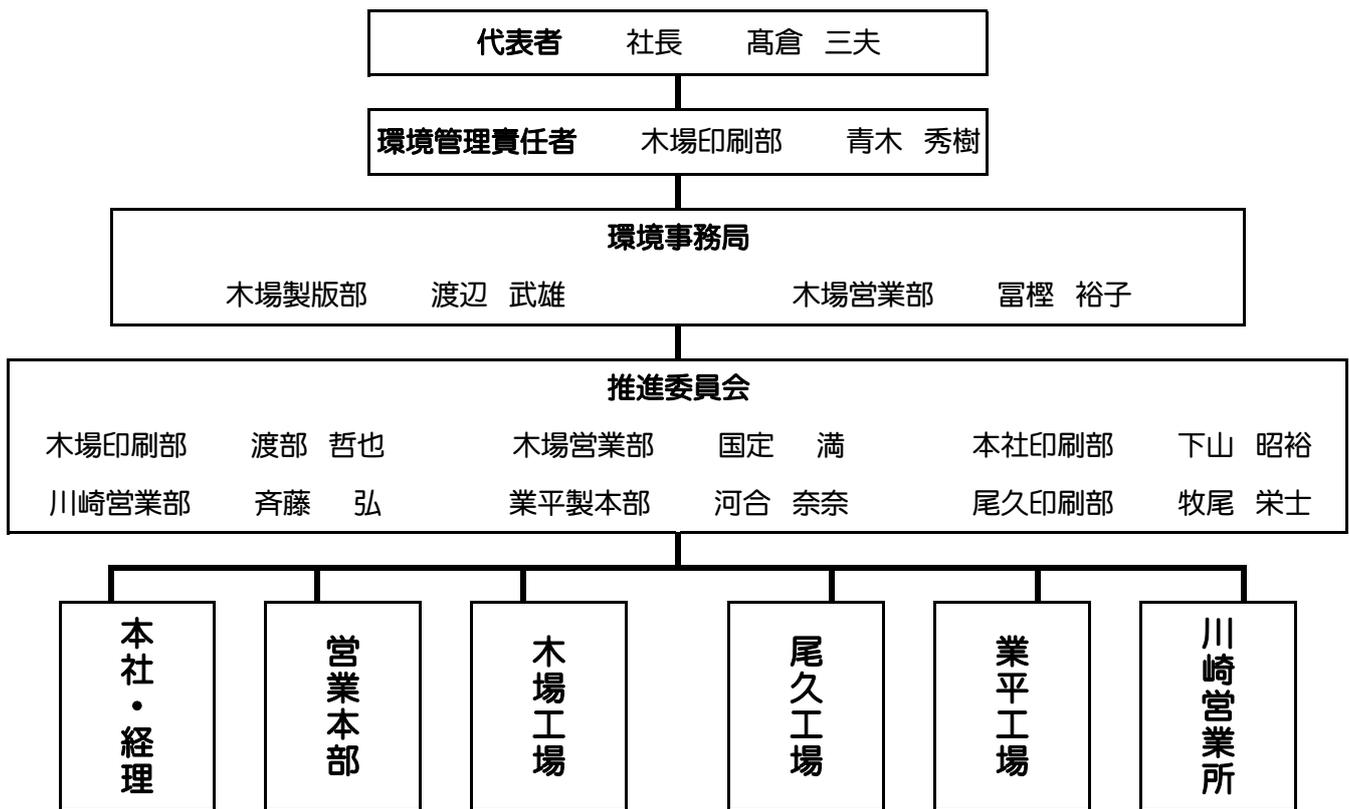
総合印刷

事業規模(2013年度)

年間売上高 1,605 百万円
従業員数 96 人
床面積 2,661.6 m²

3.実施体制

株式会社三進社 環境経営システム組織図

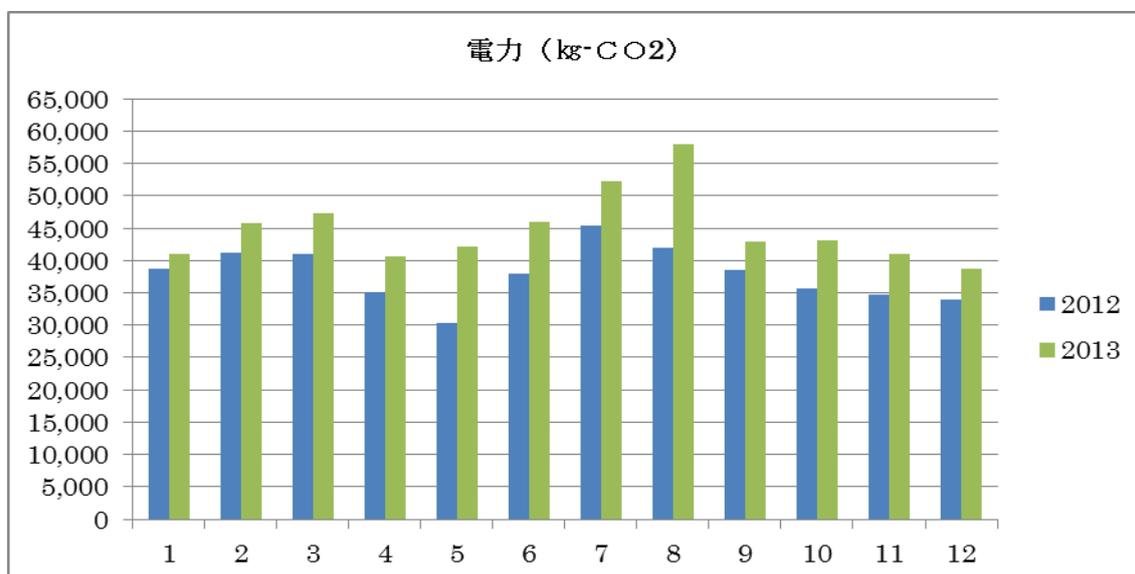


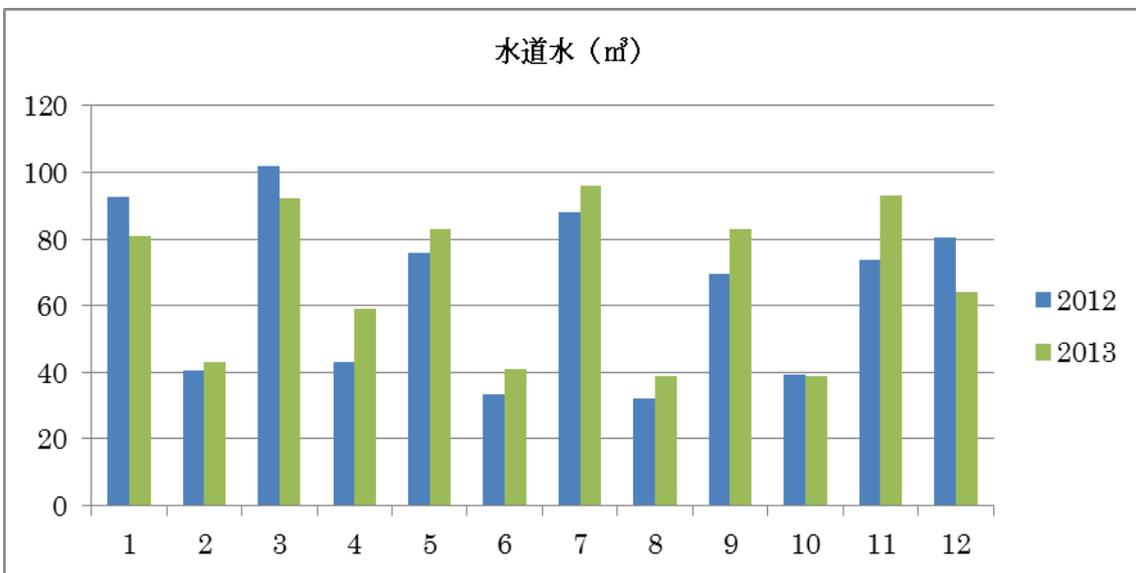
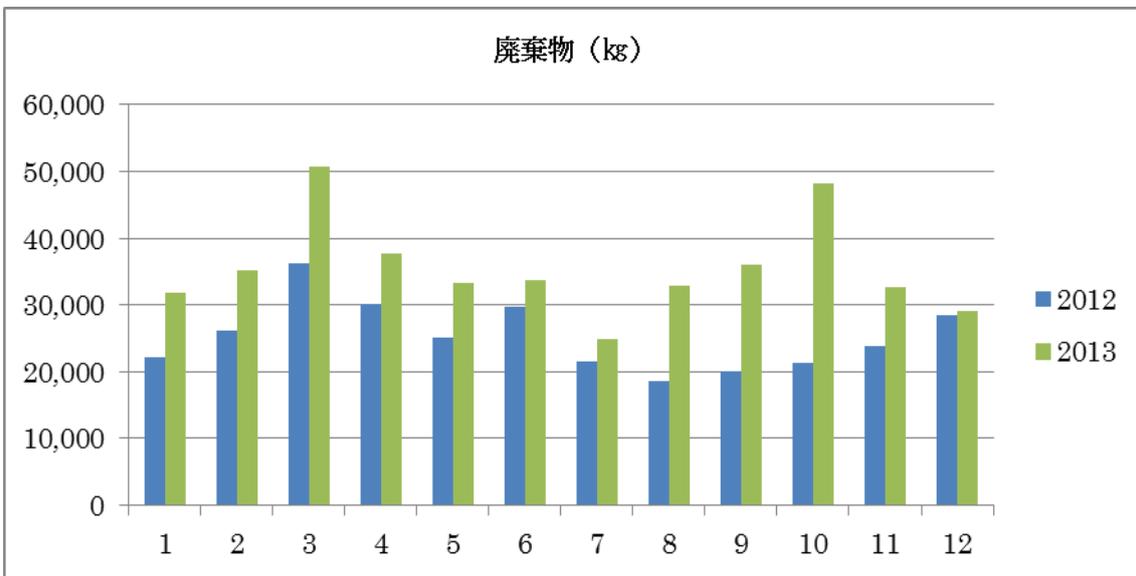
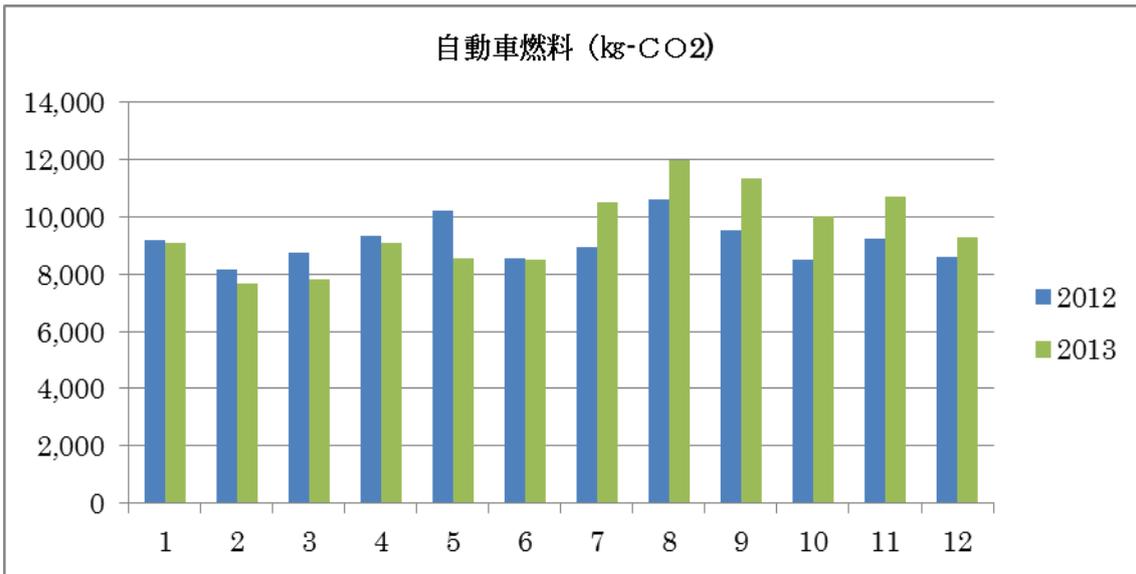
	役割・責任・権限
代表者(社長)	環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間、技能・技術者を用意 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標・活動計画書を承認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認
環境事務局	環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等取りまとめ表」の作成 「環境関連法規等取りまとめ表」に基づく順守評価の実施 環境目標・環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
推進委員会	各事業所における環境経営システムの実施 各事業所における環境方針の周知 各事業所の従業員に対する教育訓練の実施 各事業所に関連する環境活動計画の見直し及び達成状況の報告 各事業所の特定された項目の手順書作成及び運用管理 各事業所の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 各事業所の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4.環境目標とその実績(2013 年度)

環境目標	基準年度 (2010 年度)	2012 年度 実績	2013 年度 目標	2013 年度 実績	達成状況
電力の削減 * (kg-CO2)	409,686	454,640	401,533	538,998	134.24%
自動車燃料の削減 (kg-CO2)	125,613	109,580	123,113	114,591	93.08%
廃棄物の削減 (kg)	312,612	303,344	306,391	426,031	139.05%
水道水の削減 (m ³)	906	770	887	812	91.54%
二酸化炭素総排出量 (kg-CO2)	553,299	573,434	542,288	661,514	121.99%
有機溶剤の使用量 ** (kg)		5,314		4,987	前年比 93.85%
グリーン購入 (件)		184		178	前年比 96.74%
FSC登録商標使用案件 (件)		55		40	前年比 72.73%

* CO2 出力係数:0.525(2012 年度:0.463) **1L=1 kgで計算





5.主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価

【電力】

- 不要照明の消灯
- ステッカーの掲示

【自動車燃料】

- アイドリングストップ
- 急加速・急発進の防止

【廃棄物】

- 分別による古紙のリサイクル化
- マイカップ運動の推進
- 両面コピー・プリントの推進

【水道】

- 節水の呼び掛け
- ステッカーの掲示

【有機溶剤】

- 使用量の把握と取り扱いの注意
- MSDS の管理

(目標数値は設置せず、数量の報告とする ※環境方針に掲げた初年度の実績の維持)

【グリーン購入】

- 文房具等の購入の際は、グリーン購入の物を選択する

(目標数値は設置せず、数量の報告とする ※環境方針に掲げた初年度の実績の維持)

【FSC登録商標使用】

●製品・サービスにおける環境項目としてアピールし、顧客の信頼を得る

(目標案件数は設置せず、量の報告とする ※環境方針に掲げた初年度の実績の維持)

【取組結果の評価】

各項目とも川崎営業所の開設による要素が大きい。

廃棄物量に関しては業平工場においても回収業者に委託し、明確な数量が把握可能になった。

有機溶剤に関しては現在使用している薬品の代替品を随時検討し、品質及び作業に影響しなければ変更している。

FSC案件においては顧客の要望により決定する。用紙価格の面から見て減少の傾向にある。

6.今後 3 年間の目標及び次年度の取組内容

今後 3 年間の目標

環境目標	基準年度 (2010 年度)	2014 年度 目標	2015 年度 目標	2016 年度 目標
電力の削減 (kg-CO ₂)	409,686	397,517	393,541	389,606
自動車燃料の削減 (kg-CO ₂)	125,613	121,882	120,663	119,457
廃棄物の削減 (kg)	312,612	303,327	300,293	297,290
水道水の削減 (m ³)	906	879	870	862
二酸化炭素総排出量 (kg-CO ₂)	553,299	536,865	531,496	526,181
有機溶剤の使用量 (kg)		実績値報告	実績値報告	実績値報告
グリーン購入 (件)		実績値報告	実績値報告	実績値報告
FSC登録商標使用案件 (件)		実績値報告	実績値報告	実績値報告

※ 2010 年度を基準年度とし、2012 年度以降は前年度比 1%削減を目標とする

次年度の取組内容

【電力】

- 不要照明、退社前の空調及びエアコンの消灯
- ステッカーの掲示

【自動車燃料】

- アイドリングストップ
- 急加速・急発進の防止
- 低燃費車への変更

【廃棄物】

- 分別による古紙のリサイクル化
- マイカップ運動の推進
- 両面コピー・プリントの推進

【水道】

- 節水の呼び掛け
- ステッカーの掲示

【有機溶剤】

- 使用量の把握と取り扱いの注意
- MSDS の管理

(※第一種指定化学物質の使用量の把握)

【グリーン購入】

- 文房具等の購入の際は、グリーン購入の物を選択する

7.代表者による全体の評価と見直しの記録

実施日：2014年5月8日
実施者：代表取締役 高倉 三夫
報告者：管理責任者 青木 秀樹

【取組状況の評価】

社会的にもニュースなどで取り上げられることが少なくなり、社員の意識がうすれて
いるように思うが、できる範囲内でよく取り組んでいると感じられる

【見直し及び総括】

会社全体として環境にかかわる大きな予定はしていない

二酸化炭素を配慮し、社用車の入れ替えには燃費のよいものに変更する

新たに川崎営業所を開設、データの収集や定着するように教育していった欲しい

8.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

法令等の遵守状況を環境関連法規一覧表に基づき確認しましたが、違反状況はありませんでした。また訴訟、苦情及び関係当局よりの違反の指摘は、過去3年間ありません。